

令和7年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	令和7年10月22日(水)	時間	13時45分 ～14時15分	場所	市立伊丹病院 講堂1
出席者	<p>委員：吉村委員長(伊丹市医師会会長)、中村副委員長(伊丹市歯科医師会会長)、代理 鈴木委員(尼崎市医師会副会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長)、松尾委員(伊丹市健康福祉部長)、松本委員(川西市健康医療部長)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、中井委員(市立伊丹病院病院長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長)、竹原委員(市立伊丹病院看護部長)、藤本委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状：明渡委員(宝塚市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長)、織田委員(川西市医師会会長)、須藤委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、米澤委員(伊丹市消防局長)、佐伯委員(宝塚市健康福祉部長)、奥原委員(三田市総合政策部地域医療推進担当部長)、細田委員(学識経験者)、</p> <p>オブザーバー：濱口(副院長)、森田(副院長)、村山(診療部長)、下山(診療部長)、井上(診療部長) 鴻野(医療監)、指原(小児科主任部長)、萩原(放射線診断科主任部長)、渡辺(医療技術室長) 上田(薬剤科長)、加藤(医事課長)、丸(総務課長)</p>				
議題 内容	<p>■ 開会のごあいさつ</p> <p>近畿中央病院が来年4月から診療休止されることとなり、一時的ではありますが医療提供の空白期間が生ずる懸念がされております。市立伊丹病院は、地域医療支援病院として、この過渡期中核的な役割を果たしていただくことを期待されております。本委員会が、地域全体で支え合う体制作りに向けた有意義な意見交換の場となるよう忌憚ないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>■ 委員の紹介</p> <p>席次順に委員を紹介し、出席者が委員の過半数を超えているので本会は成立することを報告した。</p> <p>■ 議事の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議録の記載事項について <ol style="list-style-type: none"> 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 ・本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第2条ならびに第3条により公開であるが、傍聴希望者はなかった。 ・本委員会は議事録作成のため録音している。 ・討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載しない。 ・「公開等および傍聴についての要綱」第18条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開する。 <p>■ 議事署名人の指名について(2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉村委員長より中村副委員長および千葉委員が指名され、両名とも承諾された。 <p>■ 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紹介患者に対する医療提供について <ul style="list-style-type: none"> 資料1-① ～ 1-⑤ に従って説明 資料1-① 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率 ・令和7年度上半期地域医療支援病院紹介率は88.4% 逆紹介率は124.5%で承認要件を充たしている。 				

資料 1-② 紹介患者紹介項目内訳

・令和 7 年度上半期は診察依頼と検査依頼を含め 10,792 件、外来患者数は 106,813 件であった。

資料 1-③ 令和 7 年度上半期 科別紹介患者入院率

・総入院患者数の 43.1%が紹介を受けた患者であった。

資料 1-④ 令和 7 年度上半期 患者住所地別紹介患者数

・地域医療連携室経由の紹介患者は伊丹市が 76.6%であった。

資料 1-⑤ 令和 7 年度上半期 地域医療連携室利用割合

・地域医療連携室の利用割合は 89%であった。

2) 救急医療の提供について

資料 2-①、資料 2-②に従って説明

資料 2-① 救急外来患者数調書

・令和 7 年度上半期救急外来患者数は、4,213 件、入院化率は 35.7%であった。

資料 2-② 救急搬送の応需困難状況

・令和 7 年度上半期お断り率は 13.4%であった。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

・令和 7 年度上半期 地域医療従事者対象研修会開催一覧

研修会等を 12 件開催し、院外より 241 名の参加があった。承認要件の 12 回を上半期で満たすことができた。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

・開放病床の平均利用率は 4.4%で問題なく運用している。

5) その他

・特になし

質疑応答

資料 1-② 紹介患者紹介項目内訳

質問:近畿中央病院診療休止発表後の影響は?

回答:診療休止発表後より紹介件数が増加している。9 月頃からは、新患も増加している。

資料 2-② 救急搬送の応需困難状況

質問:応需困難件数が改善されている理由について。

回答:診療看護師、救急救命士等を増員し、より一層スムーズに受け入れできるようにしたことが、お断り件数の減少に繋がったと考えられる。

資料 4 開放病床の運用実績について

質問:主な利用は眼科でしょうか?

回答:眼科の白内障手術による利用のみです。

■ 閉会のごあいさつ

本日はお忙しいところ第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会に出席くださりありがとうございます。吉村委員長・出席の皆さまのご協力により委員会が無事開催され議事が承認されましたこと、感謝申し上げます。

また平素より地域医療と市立伊丹病院の運営にご協力を賜り有難うございます。

来年 3 月末で近畿中央病院が診療休止するため今週、伊丹市医師会において第 2 回地域医療体制確保に向けた連絡調整会議が開催されました。

出席の各委員の先生から建設的な意見を賜り安堵しますとともに、来年から伊丹市には急性期病院が当院しかないということを改めて痛感しました。

地域の医療を守るために職員一同全力で医療に取り組む所存です。

引き続きまして皆さまからのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

■ 謝辞

本支援委員会では、いつも皆様にお世話になりありがとうございます。また、当院の診療では常にお力添えをいただき感謝申し上げます。

私からは統合新病院についてお話しさせていただきますが、昨年に土壌汚染にて土地改良が必要となり、大成建設から1年5カ月の工期の延期を告げられております。そのため統合新病院の竣工は2027（令和9）年の後半になってしまいました。現在の建築の進行状況は計画通りであり、これより遅れることはないと考えております。しかしながら、この工期の遅れのために近畿中央病院が今年度末の2026年3月をもって診療を休止すると発表されております。


当院だけでこれに対処することは無理がありますことから、伊丹市医師会を中心に関係者の皆様に対応策のご支援をお願いしていますが、当院としても最大限の努力をしたいと考えています。医師としましては30名程度、その他の職員で70名程度の約100名の方々を来年度に職員として受け入れたいと考えております。病棟数は414床のままですので、また物理的な制約と経営上の問題から、現状ではこれが考えられる最大ではないかと考えております。

公立病院の経営はどこも大変になっていますが、この伊丹市の地域医療を守るために統合新病院に向かって進んでまいりますので、継続したご支援とご理解を何卒宜しくお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。


別紙のとおり「令和7年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者 令和 年 月 日

吉村史郎 

別紙のとおり「令和7年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人 令和 年 月 日

中村義盛 

議事録署名人 令和 年 月 日

千葉一雅 